

東日本大震災復興支援委員会分科会の設置について

分科会等名：原子力発電所事故に伴う健康影響評価と国民の健康管理並びに医療のあり方検討分科会

1	所属委員会名	東日本大震災復興支援委員会
2	委員の構成	会長、会長の指名する副会長及び20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	日本学術会議は、東日本大震災に関して「東日本大震災復興支援委員会」を設置し、提言「学術からの提言—今、復興の力強い歩みを—」（平成24年4月9日）を発出し、その後も計7つの分科会において様々な観点から活発な審議を重ねてきたところである。特に、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響に関しては、第一部～第三部までの多くの分野別委員会並びにその分科会においても、それぞれの専門の立場から真剣な検討が行われ、既に多数の提言等も出されている。 しかし、原子力発電所事故とそれにより放出された放射能による心身の健康への影響と、それを長期間、できるだけ正確に把握するための健康調査のあり方、そして国民が必要とする健康管理と医療の提供体制について、科学的な議論はまだ十分ではない。これらを調査・審議するために、前期において分科会を設置してこれらの調査審議を進めたが、期間が短かったこともあり、論点の抽出にとどまっている。このため、第23期においても本分科会を設置して、引き続き調査審議を進める。
4	審議事項	○低線量放射線被ばくの健康影響に関する評価 ○放射線影響並びに事故の影響の長期把握のための健康調査のあり方 ○原発事故後の健康管理並びに医療体制のあり方
5	設置期間	時限設置 平成26年10月23日～平成29年9月30日 常設
6	備考	※新規設置